

函館の特養・潮寿荘

猫2匹お年寄りに癒やし



おやつのかつお節をもらう潮寿荘の「億」(右)と「集」

特別養護老人ホーム潮寿荘(函館市釜谷町605)で、「億」と「集」と名付けられた猫2匹が入居者と一緒に暮らしている。2匹は函館のNPO法人「北海道動物愛護ネットワークみらい」から引き取った猫。日中は施設内を自由に歩き回り、入居者や職員たちに癒やしを与えている。(押野友美)

譲渡会で探し引き取る

オスの「億」とメスの「集」が潮寿荘にやってきたのは2014年10月。東京に猫を飼っている高齢者施設があることを知っていた柏原美之施設長が、自身も猫好きだったこともあり、潮寿荘での猫の飼育を提案したのがきっかけだった。この提案を受け、2匹を同時

「億」と「集」 ひざの上やソファでのんびり

に飼育することや、入居者を傷つけないよう手の爪の手術をすることなどを施設内で決定。捨てられてしまった猫の中から、施設に合う猫を迎え入れることにしたという。その後、柏原施設長が、動物愛護に関する一連の活動について以前から知っていた「みらい」の譲渡会に何度も参加。みらいの鈴木洋美副代表が保健所から引き取って保護していた生後2カ月ほどの猫2匹を、施設で受け入れることになった。「人を怖がらず、丸顔の垂れ目に一目惚れしました」と柏原施設長。「億」の名には、安定してホームの運営ができるようにとの願いが込められた。「集」は、職員や入居者がにぎやかにホールに集まるようにとの思いで命名された。猫たちは現在、ホールに設置された職員手作りの「猫ハウス」(3階建て)を拠点に生活しており、職員皆で世話に当たっている。居間はハウスの扉が開かれており、2匹はホールを中心に施設内を自由に歩き来している。入居者のひざの上に乗ったり、歩行器のかごに入ったりしているほか、入居者と一緒にソファに座ってくつろぐ姿を見せることも。時には、入居者の居室に入ってナースコールを鳴らしてしまふこともあるが、入居者たちも一様に猫との触れあいを楽しんでいるという。潮寿荘はさらに、インターネットのブログ「にゃんこ通信」を通じて「億」と「集」の近況を随時紹介。今年、ブログの存在を知ったみらいの鈴木副代表は「これまでかわいがってくれていたとは思わなかった。幸せになっていて本当によい」と喜んでいる。



第5870号

北海道新聞函館支社

情報提供は ☎ 0138-32-5193
フリーFAX 0120-324-072
電子メール minamikaze@hokkaido-np.co.jp
掲載写真の購入は ☎ 0138-32-5118
有料広告は ☎ 0138-32-5124

道南ウィークリー

◆第55回函館・渡島・檜山 教育福祉合同作品展
午前10時～午後7時(最終日は午後4時)、
棒二森屋本館7階(函館市若松町17)。12日
まで。道南の障害者施設利用者や特別支援学
級の生徒らが手がけた作品の展示と販売をす
る。同展事務局の高山さん☎090・2053・5248
◆アジアンジブシーギター弾き語り 午後
7時、ジャズスポットリーフ(函館市松風町
8)。国内外で活躍するギタリスト黄金井脩
さんが独特のクラシックギター奏法と力強く
も繊細な歌声で幅広いジャンルの曲を披露。
予約・前売り3千円、当日3500円でいずれも
1ドリンク付き。リーフ☎0138・27・4122
◆五稜郭の文化価値を考
える会連続講座第5回 午
後1時30分、函館アリーナ会議室A(湯川町
1)。はこだて外国人居留地研究会の清水憲湖
会長が「村垣淡路守の安政元年と同3年の蝦
夷地調査」をテーマに講演する。参加無料。希
望者は直接会場へ。同会・佐々木さん☎090・
8274・3153

今年

函館 会員制で演劇
演劇鑑賞会の今
が決まった。今
・ら」を皮切り
柑とユウツツ」
そらえた。
最初の上演と
(東京)の「ら

大沼

【七飯】町
研究、調査す
15日から町文
で研究発表会
も可能で、会
発表する。
15日と27日
で、いずれも
0時15分まで
表する。
27日は会員
同会創立30周
施した「札幌
森間の今、昔
介したり、函
変遷を振り返

